

おさなごの  
ヤブー  
飼育日記  
NO.4



DOJIN  
R18  
成人向け

※本データの無断複製およびネットへのアップロード等にご容赦ください。  
18歳未満の閲覧を固くお断りいたします。発見した場合は然るべき処置を行います。



退屈……

そんな  
2文字が  
脳裏によぎる

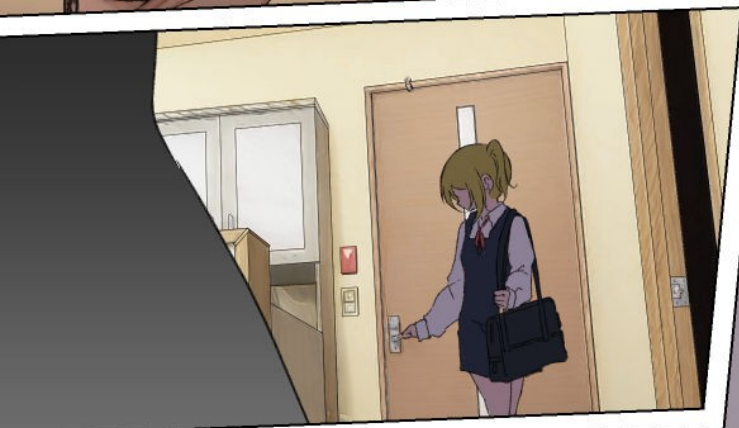
常に新しいことを  
試してみても  
飽きてしまう

只々  
退屈だった

そんな日々

……けど





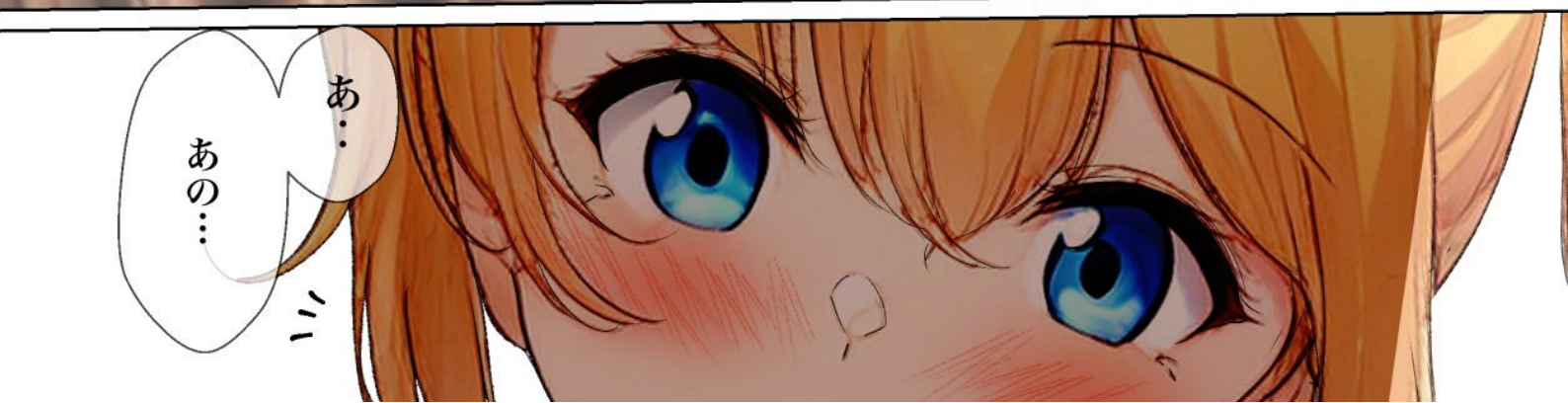














ありがとうございます  
ございます

陽菜さま

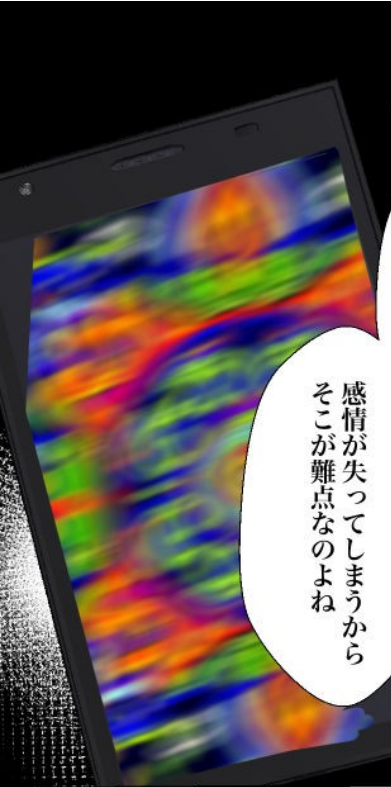
私……  
貴重な時間を  
貴方のために  
使えるなんて……

有難き  
幸せです……

アッ……

……





催眠化  
すると

感情が失ってしまうから  
そこが難点なのよね

これ……  
便利なんだけどさ



なんて正直で  
良い子  
なのかしら♡



やっぱり  
催眠はかけないで  
正解だったわね



従順になって  
くれて良かった…

その点貴方は  
この物達とは  
違って

まあ…こうやって

裏切った対処法は  
いくらあるんだけどね

君のこと  
本当に好きだからさ  
言ってるのよ







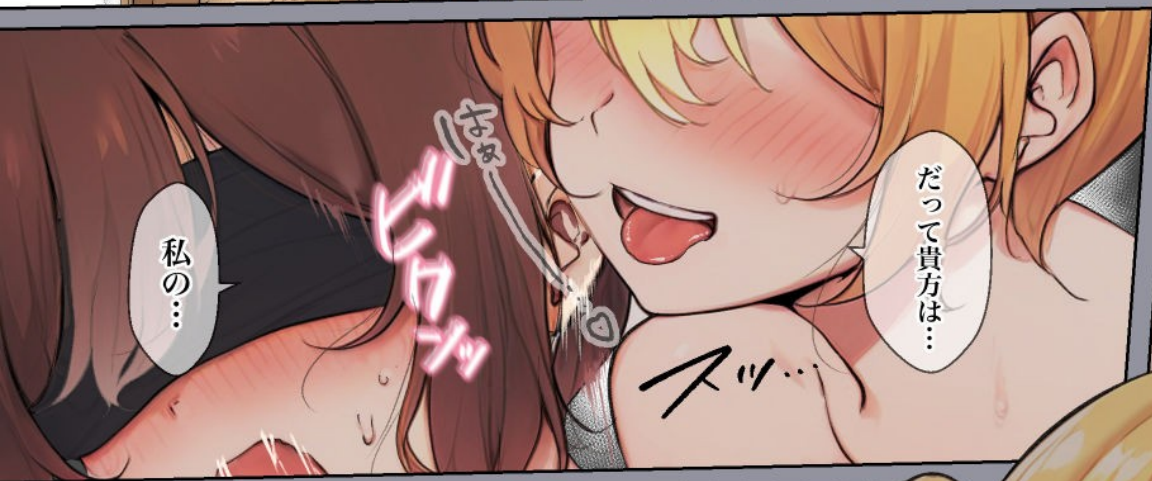


これから  
貴方は

元カノだった人の前で  
絶頂を感じる程の  
快楽を味わうの♡

身を委ねてくれれば  
きつと……

同じ愛を  
感じられるはず  
だもの……



だって貴方は…

フツ…

私の…



最高の

パートナー  
ペットだもの♡

思う存分  
可愛がってあげる♡

耐える…

この場…  
だめだ…

フツ…









んっ♡

ちゅっ♡

こんな……

こんなのって……

最低……

こんな形で  
えっちし合う  
なんて……

酷すぎる……

あんまりだよ……



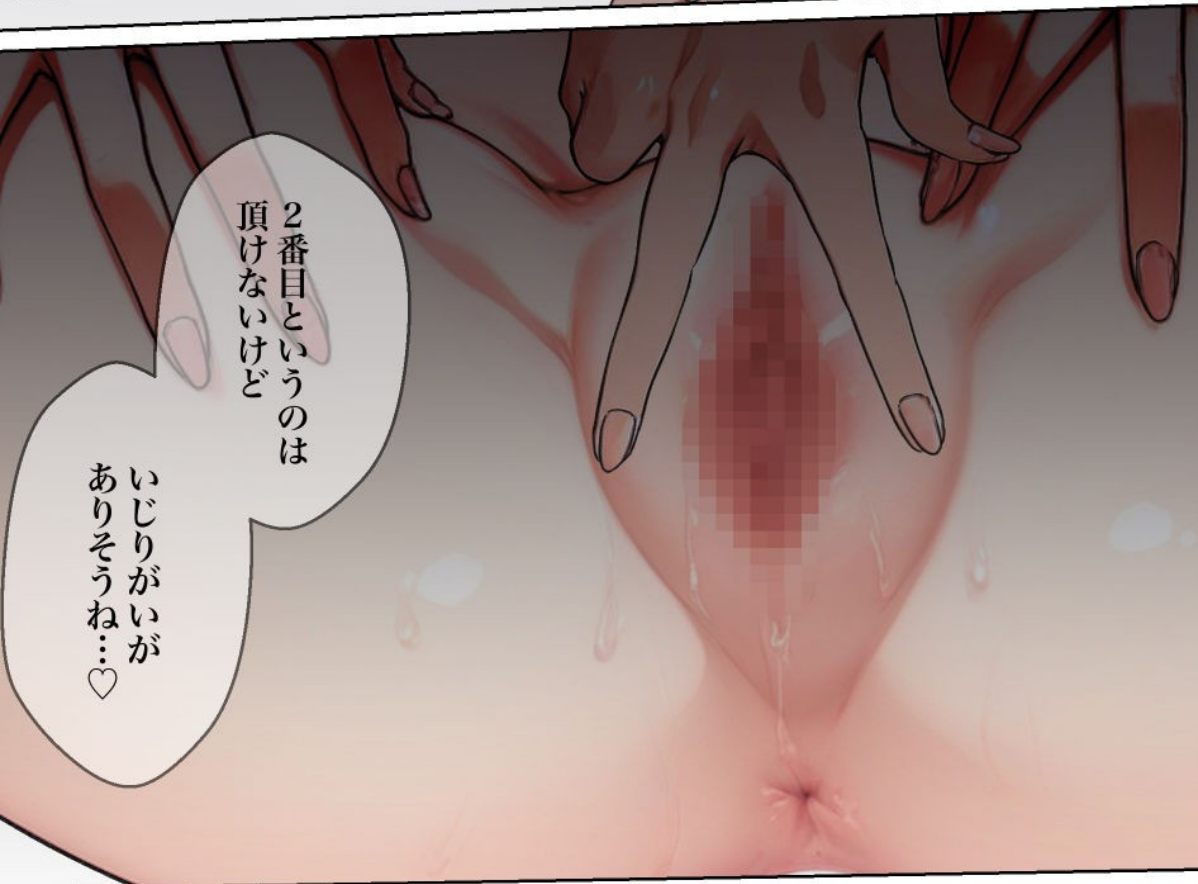


あの子と  
えっちした  
経験あるくせに♡

ビクッ



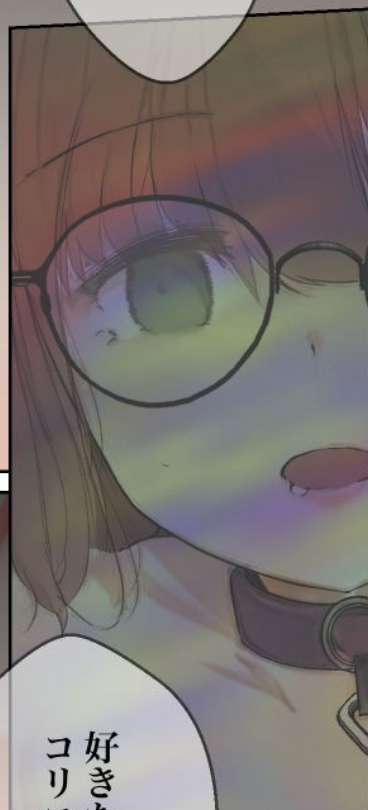
あれ♡  
この部分



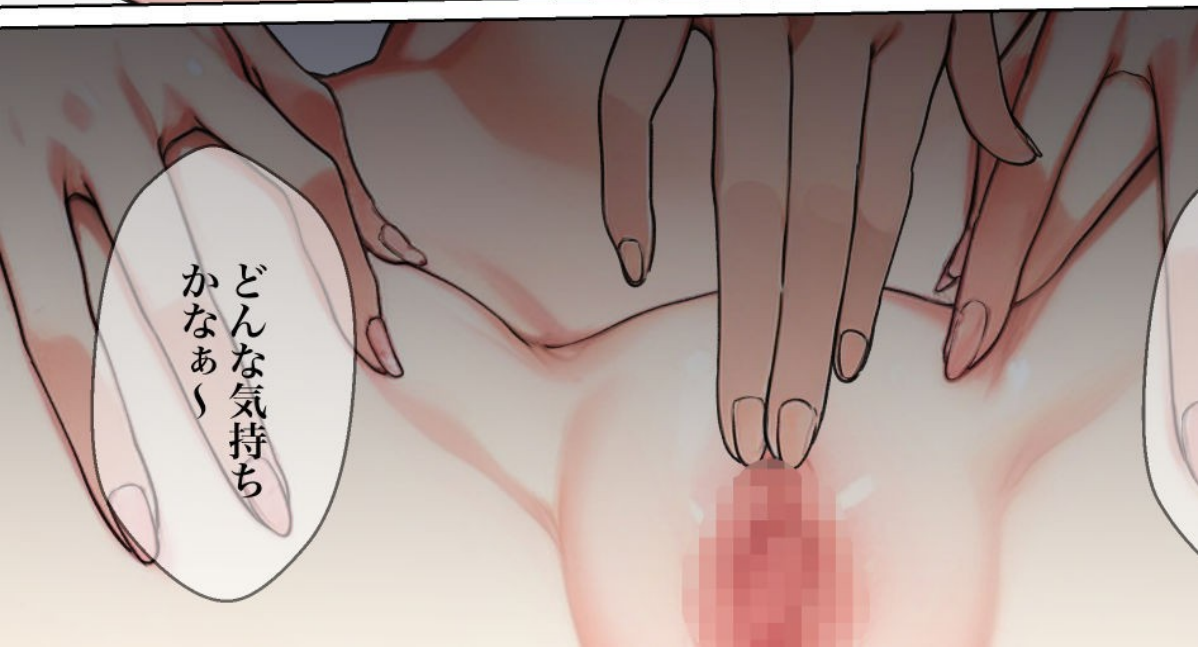
2番目というのは  
頂けないけど

いじりがいいが  
ありそうね…♡

なんて綺麗な  
まっピンク♡



好きな人の前で  
コリコリされるの



どんな気持ち  
かなあ♡





そうだ!



これじゃあ  
ただ気持ち良いこと  
してるだけで

アッ...

こ...  
これは...?

面自みが  
全く無いのよね

今の私...

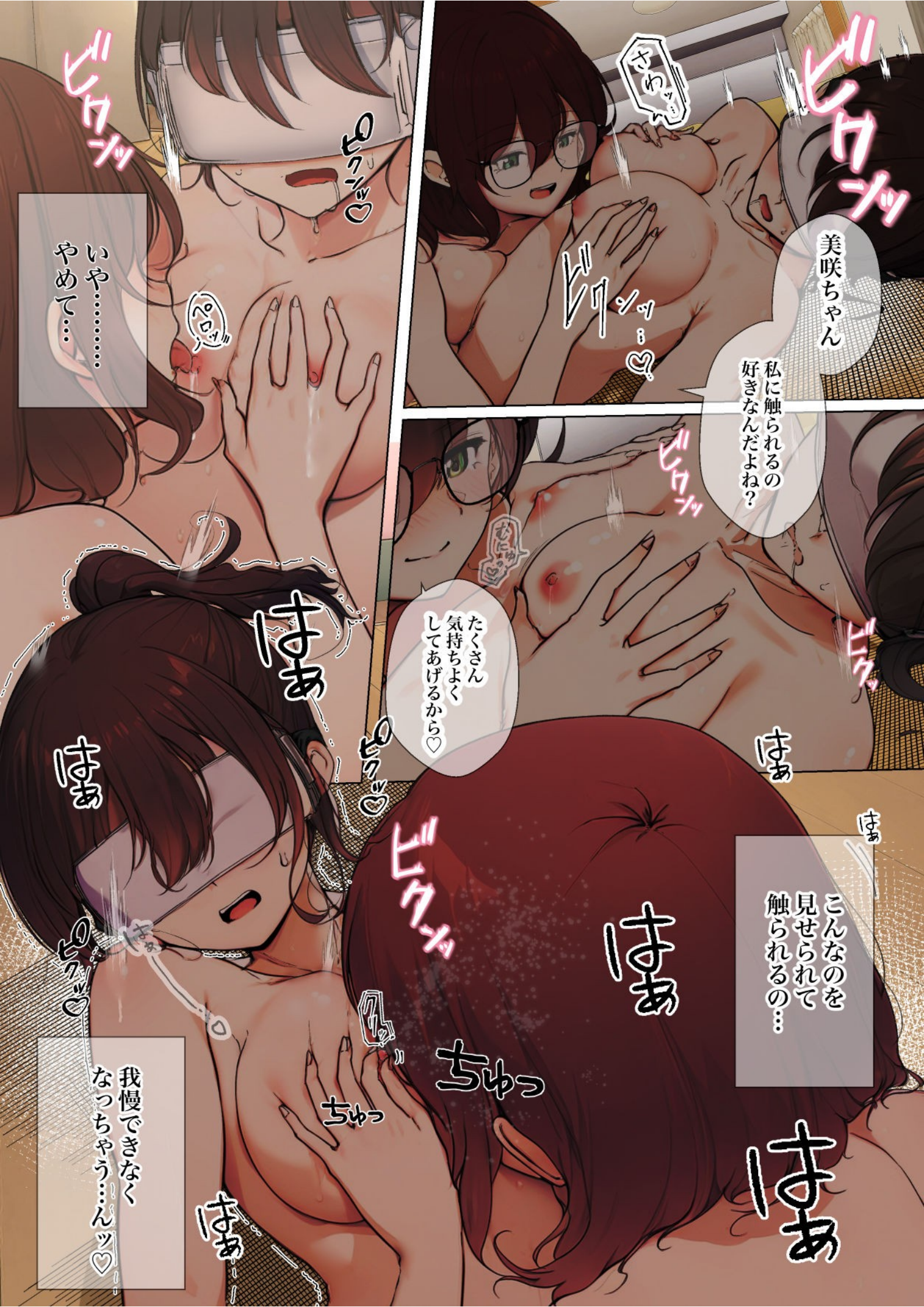
どう映って  
いるのかな?

うっ...

カチャ

アッ...





ピクッ

ぐんぐん

はい

いや……..  
やめて……

すみません

ドクン♡

ピクッ

美咲ちゃん

私に触られるの  
好きなんだよね？

ピクッ

むいっ♡

たくさん  
気持ちよく  
してあげるから♡

はぁ

はぁ

ぐんぐん

ピクッ

はぁ

こんなのを  
見せられて  
触られるの…

はぁ

ちゅっ

ちゅっ

はぁ

我慢できなく  
なっちゃう…んっ♡

はぁ

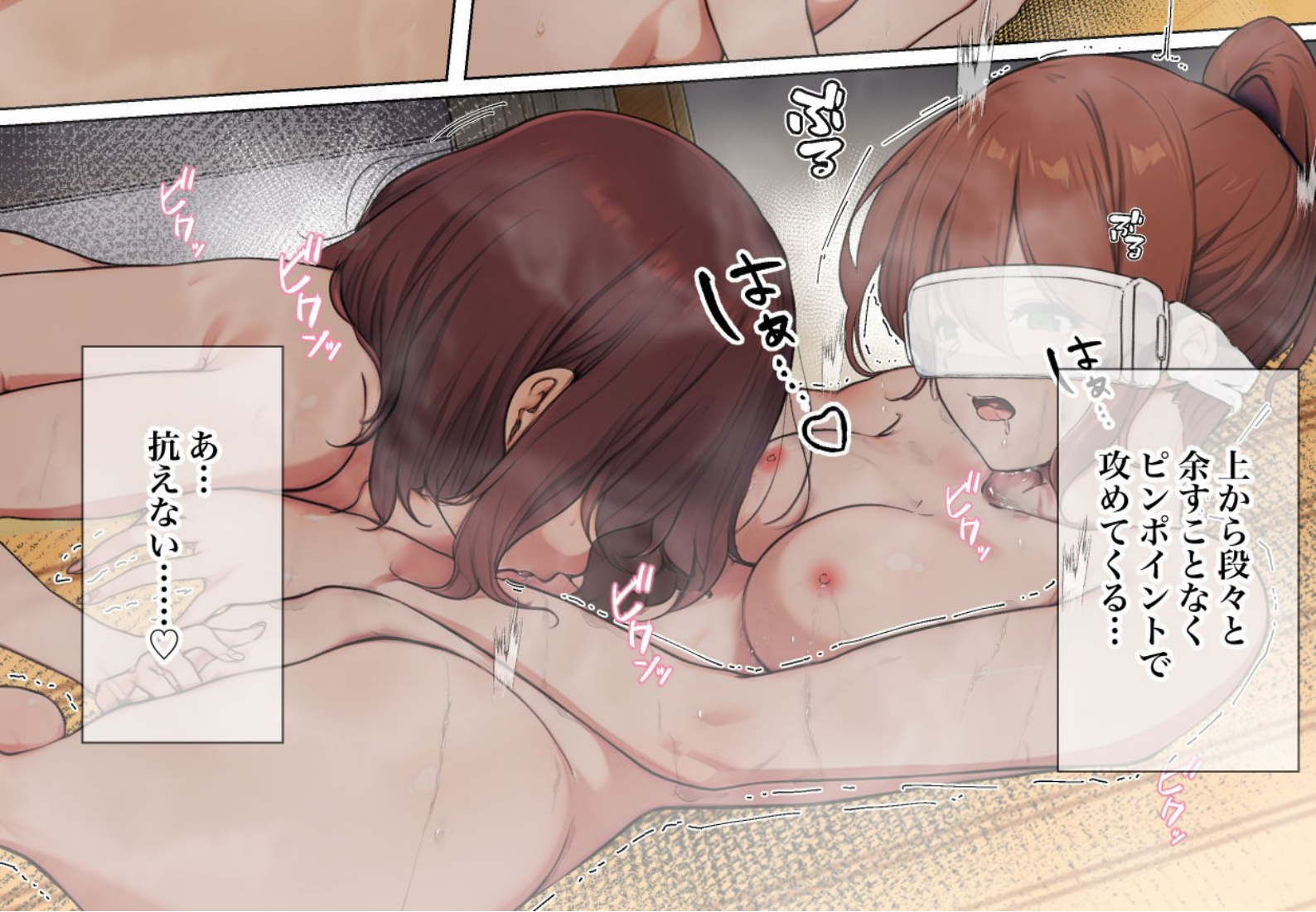




私の気持ちのいい  
性感帯知ってんの…



いや……  
な……なんで



あ……  
抗えない……♡

上から段々と  
余すことなく  
ピンポイントで  
攻めてくる…





フワ...

!

ほら  
リラックスして

アッ...

すぐに  
気持ちよ  
くなるから...♡

んん



ゆっくりと…  
局部へ降りていくのが  
わかる…

ススス…

……♡  
甘噛み…ダメ…♡

ビクッ  
ビクッ

な………  
なんで…そんな  
焦らしてくるの

そんな  
意地悪…  
しないですよ…

アッ…

……♡  
……♡  
……♡

ビクッ  
ビクッ  
ビクッ





そんな  
いきなり  
緩急つけずに

だ……ダメ……  
り……理性を……  
保たない……





とおおおお.....♡♡♡♡

ふるん♡

ん♡

す.....

吸い付きが  
良すぎて...

ぎゅ...!

やばい.....  
脳が溶けて  
しまいそう...

その  
とろけた表情...

すま...

うう...

はっ  
ビュッッッ

やばい...

今...一瞬  
飛びかけた...

嬉しい♡

すま...



屈辱的だ……

綾香の姿を  
映して  
愛撫してくる  
なんて……

私の特別な想いを  
踏みにじるような  
ことをして……

なんなの……  
この娘……

悔しい……

でも何より……

悔しいのは……



気持ちに  
相反して身体は  
正直でいる…

悔しい……

凄く悔しい…

すっごく……

気持ちいい……♡

けど…  
ここを乗り切れば…





嘘……  
二刀流？？？

それは…

待って…

それはいくらなんでも  
反則……

それに……  
4本も入って……♡

それに…  
4本も入って……♡





はぁ...

気持ちいいトコへ  
一気に刺激してくる

はぁ...

はぁ...

不規則に  
クリを攻めてくる...

はぁ...

あ

ビクッ



ほぐした  
おま○こに

この一本...  
入る...かしら?

!

ブ...



あ

抗えない...  
やめて...理性が...

あ

あ





ダ...カ

いや...

それは...

子宮 突くの...

気持ち良すぎる...

カッポッ



ダメ...

それは.....

いや.....

ごめんね.....

いやだ.....

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

壊れちゃう...

それ以上は  
おかしくなっちゃうよおおお

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

壊れちゃう...









しっ

しっ

しっ

しっ

しっ

しっ

ぐ

ぐ

ぐ

ぐ

はっちゃん♡

はっ



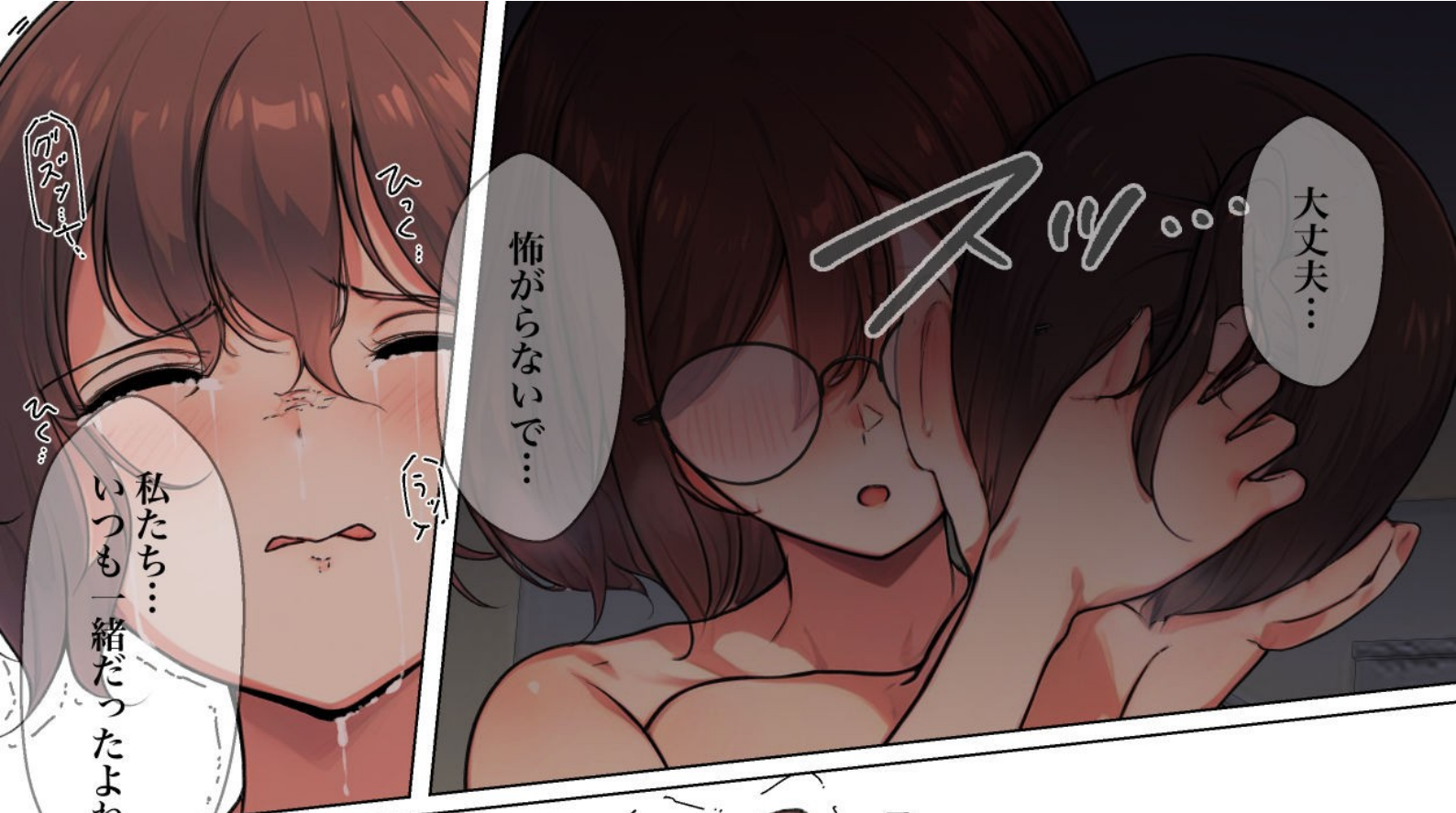


それ以上やったら…  
子宮まで好きに  
なっちゃう…から…

もうやめて…

!







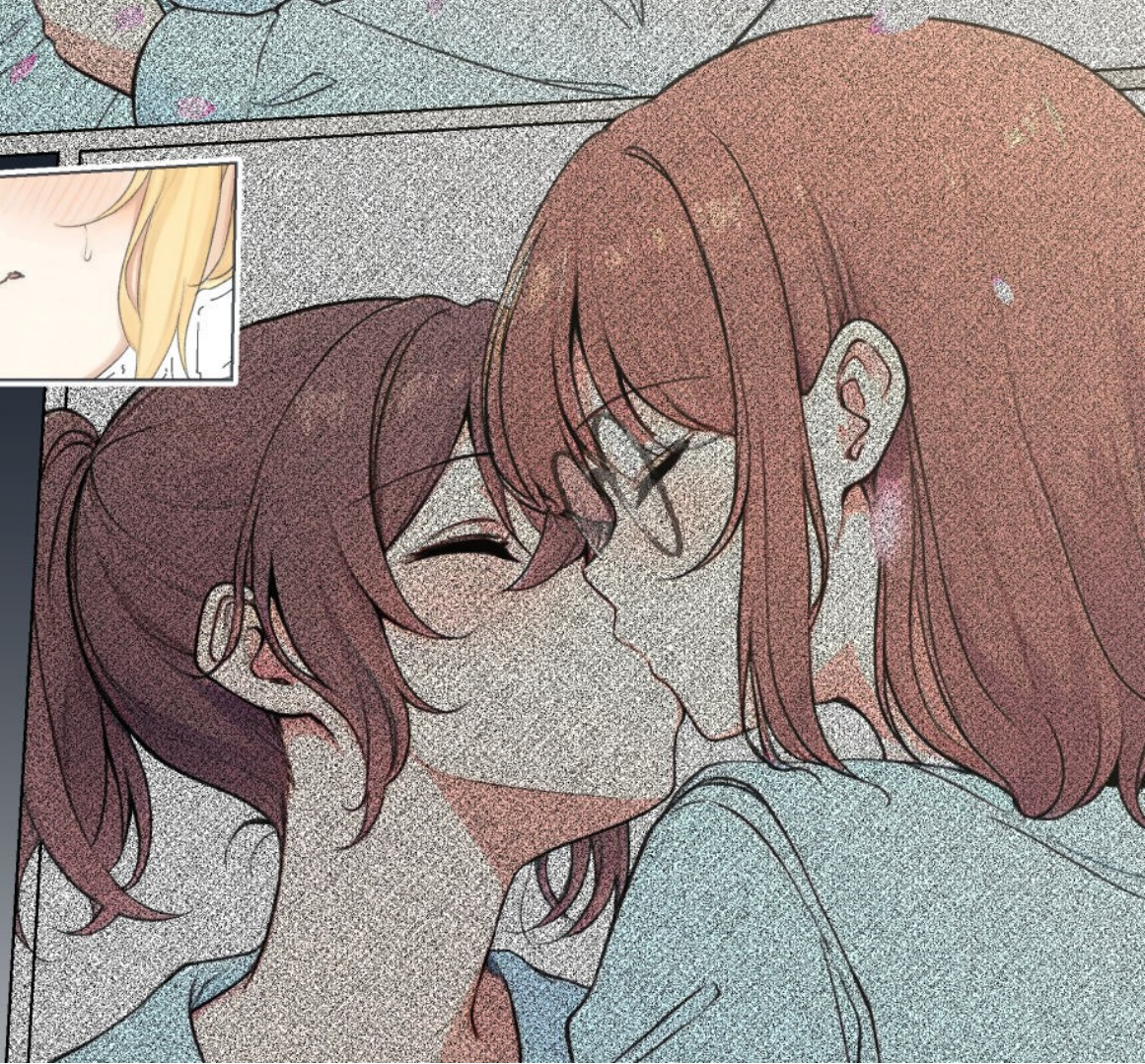
私の……

愛しの……

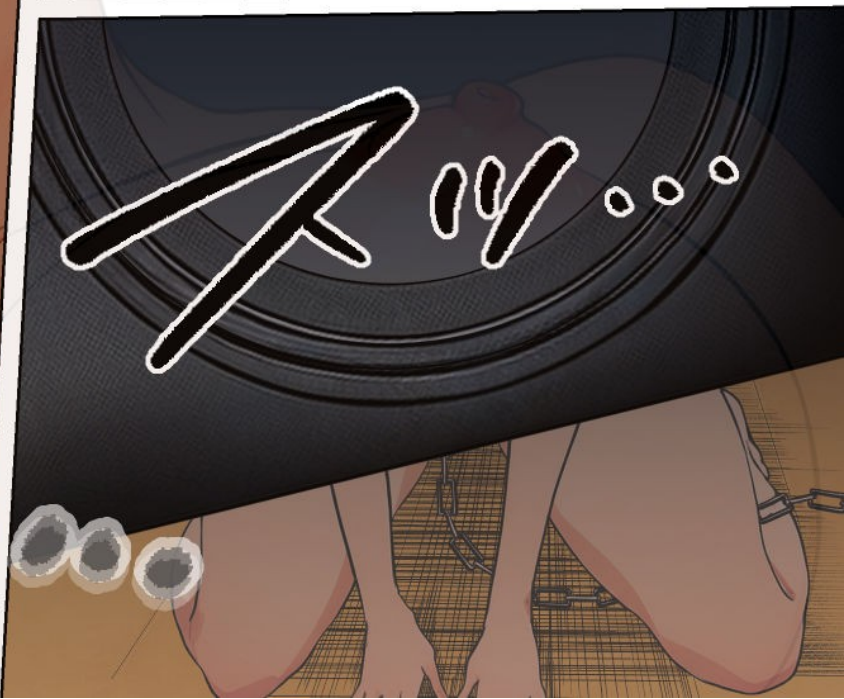
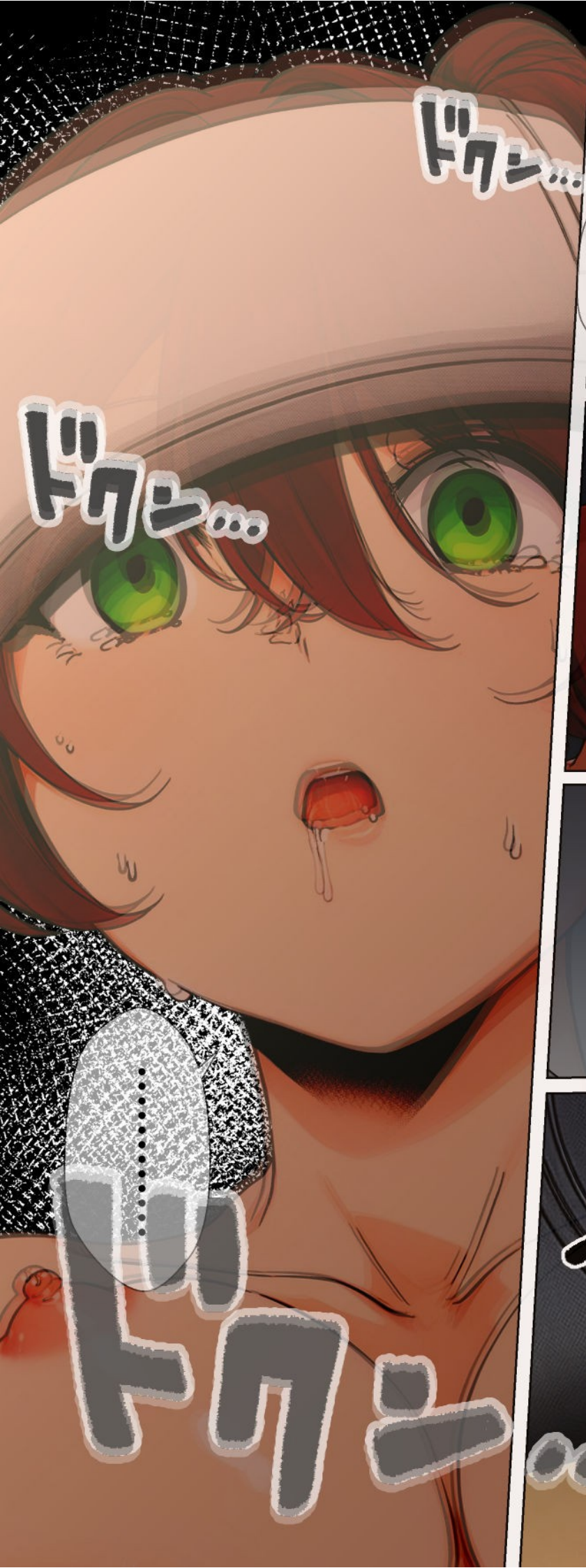


あや……

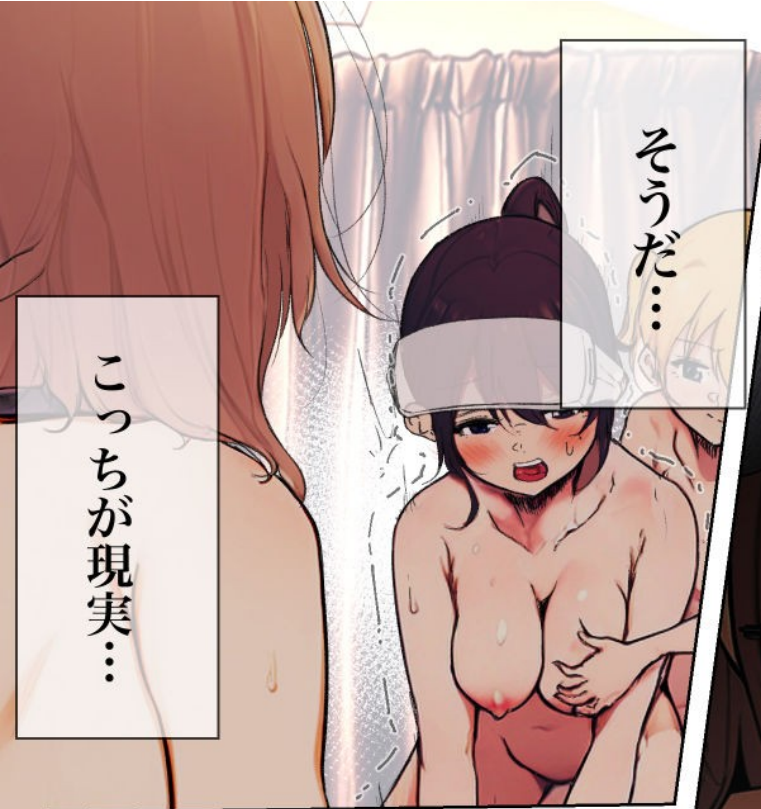
か……？





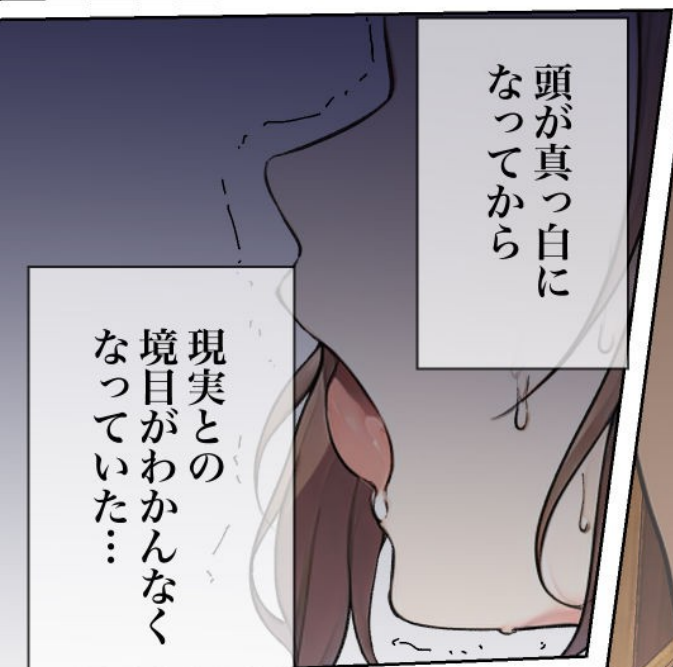






そうだ…

こっちが現実…



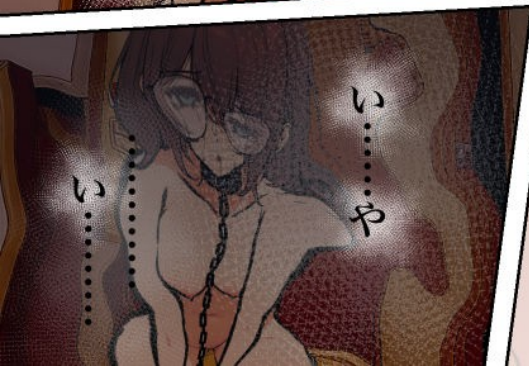
頭が真っ白に  
なってから

現実との  
境目がわかんなく  
なっていた…



どうしよう…  
またイク…

い…嫌だ…



い…や

い…





嫌だ……

はちゅん♡

いやだ……

いやだ……いやだ……  
いやだ……いやだ……  
いやだ……いやだ……  
いやだ……いやだ……

はちゅん♡

はちゅん♡

はちゅん♡

ビクン

はちゅん♡

はちゅん♡

イク……

いつちやう……

イク……

イク……

ご……めん……

だ

いやだ……

もうやばい……





うめえ.....

あや...か...

アッ...

アッ...

アッ...

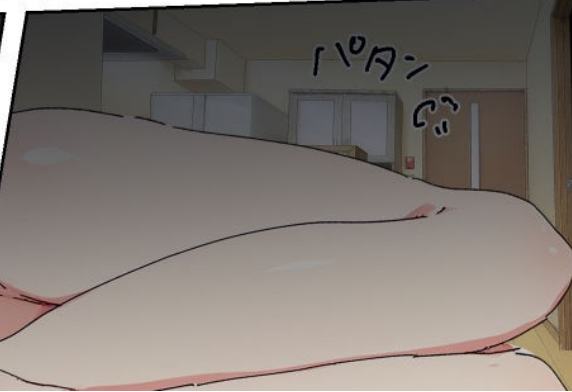
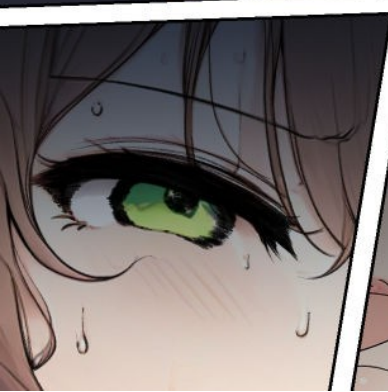
アッ...

ガクガク...

カク...

RRR...



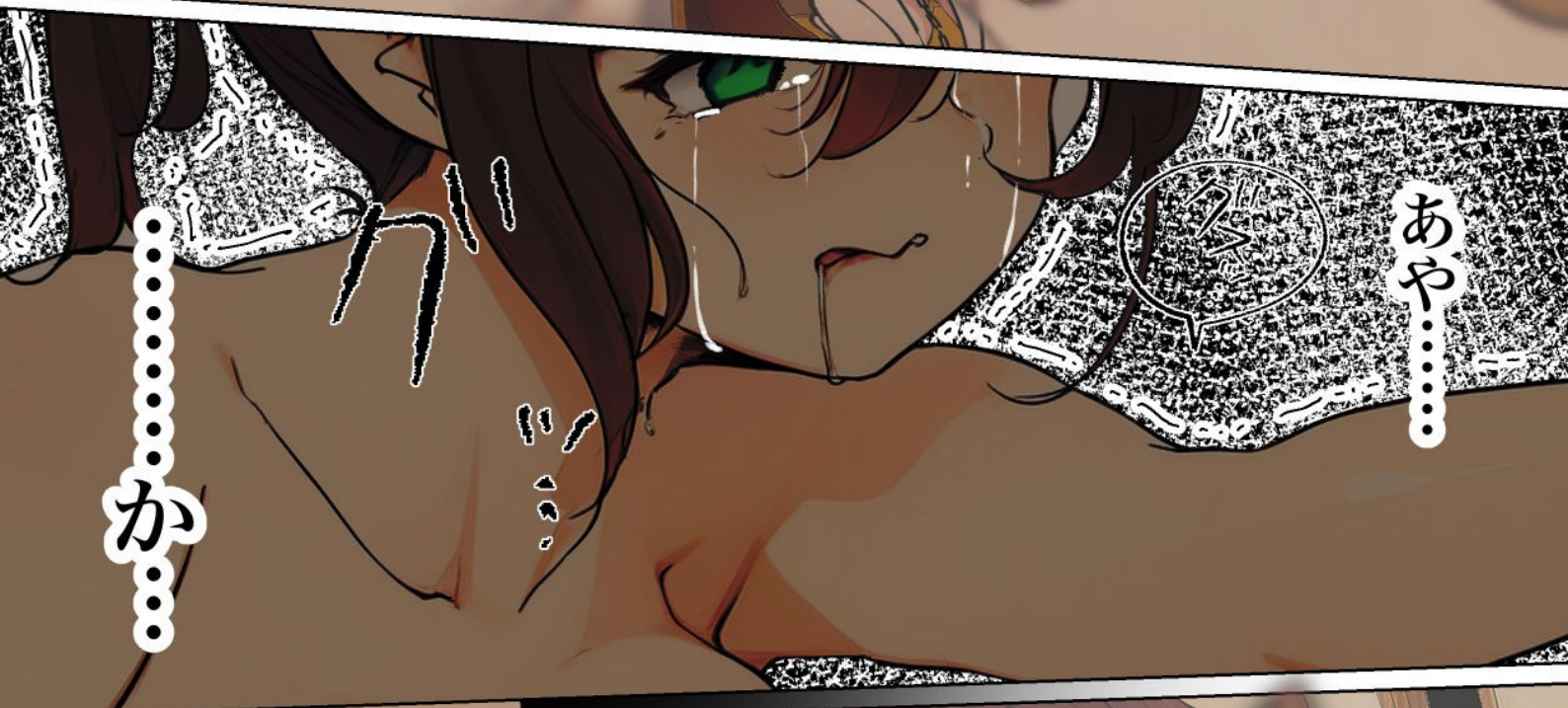








あやか...







ブッ...

.....ごめん

.....











洗脳アプリ…

開く際に見えた

上にスワイプしてFace IDを使用するか、またはパスコードを入力  
● ● ● ● ●

パスワード…

そして……

何者かによって  
指示された

外出………

スマホを置いて  
外出なんて……

そんな偶然……  
……あるのか

でも………

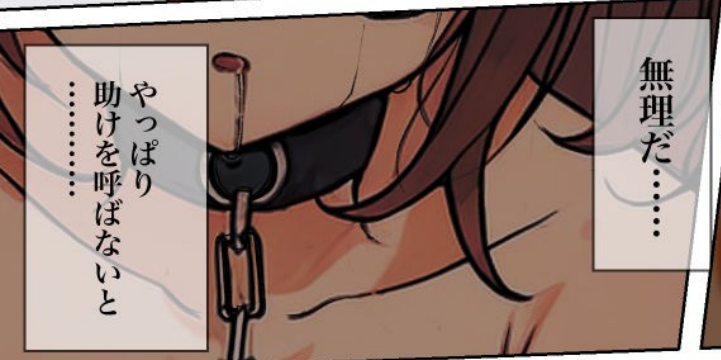
怖い………

早く……

出来る限り  
早く………

ここから  
逃げ出したい……











助けてください！

場所は  
分かりませんが

2人が監禁  
されていて

それで

その……

ちょ……  
落ち着いて  
ください

深呼吸して……  
ゆっくりで良いので  
説明して  
頂けませんか？



私は  
この後しばらく  
呼吸を整えて

それから  
今知っていることを  
全て説明した



早く……  
助けに来て…

陽菜という人間が

ヤブ  
家畜人として  
飼っていたこと

拘束具や  
催眠アプリで  
身動きが取れないで  
いること

焦りと鳴嘔感  
たどたどしい  
返答だったが

なんとか  
話すことが出来た

ポ  
ン  
ポ  
ン





だ…誰？

もしかして…

帰ってきた？



嘘…

今…帰ってきたら

またやられる…



い…いやだ…

それだけは…

いや…

すみませーん！



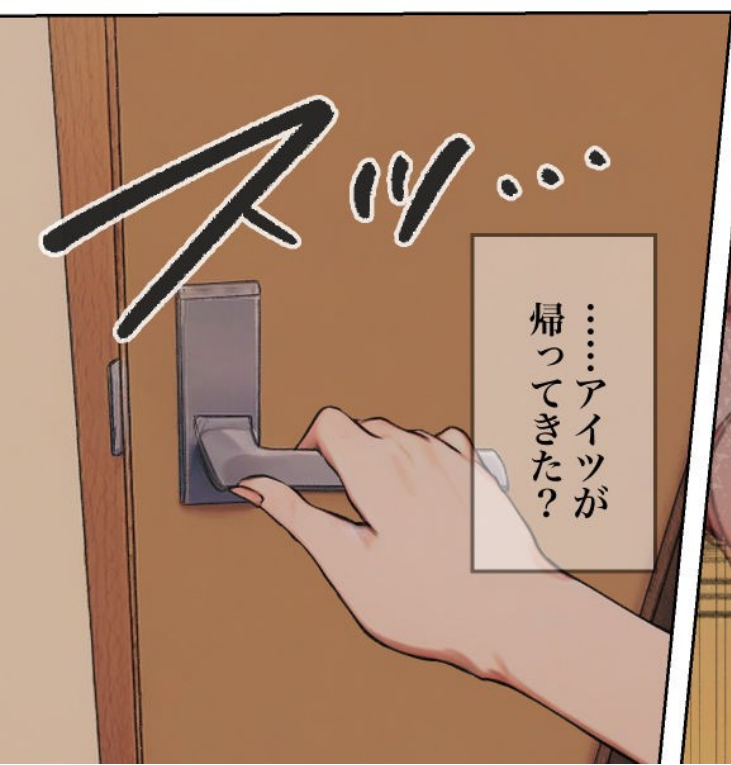


誰ッ?



知らない声

もしかして……



……アイツが  
帰ってきた?

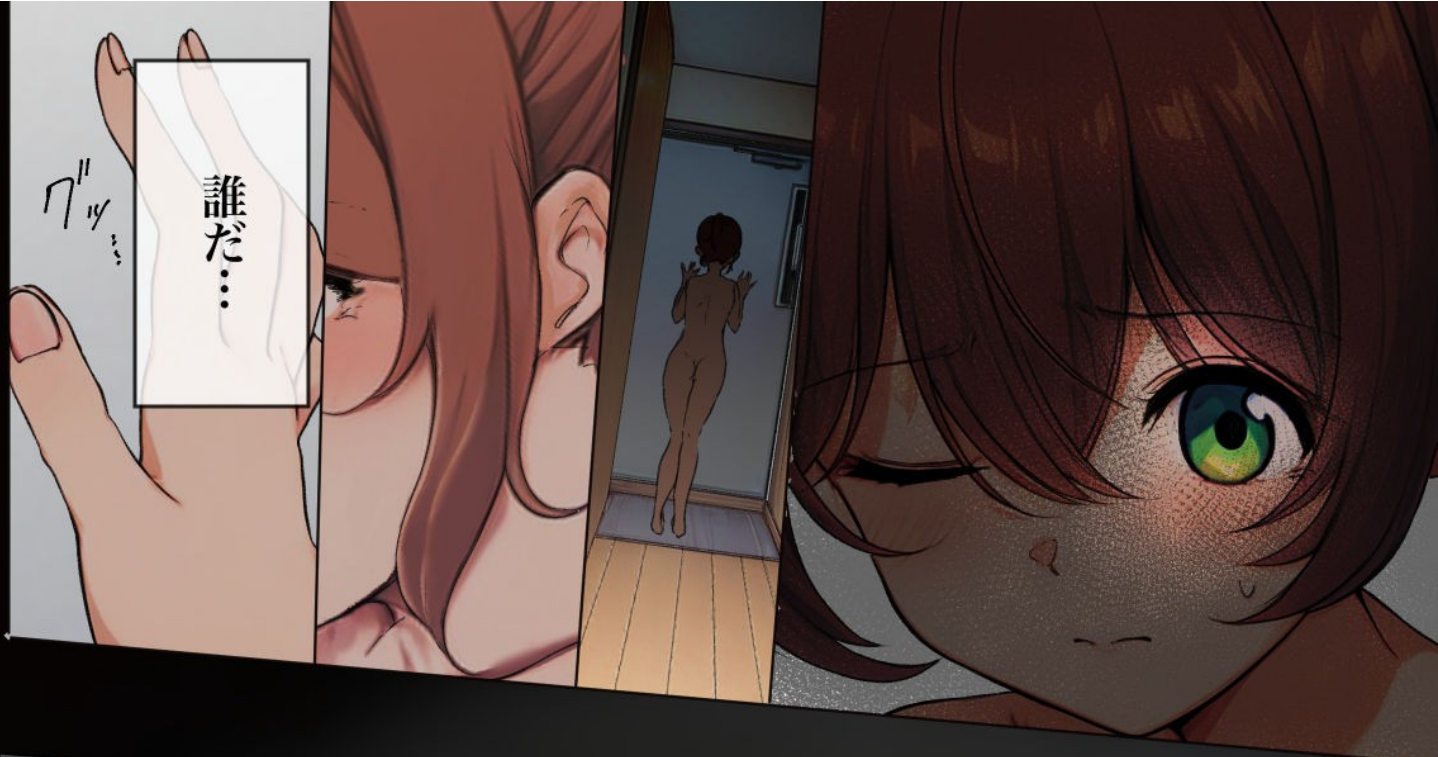


……









警察……  
ではないのか？

もしかして  
アイツの仲間？

怖い……

もし……  
アイツの仲間だったら

すみません……



貴方の声を  
聞いて

心配で真っ先に  
飛んできたんです

貴方を  
助けたい…

だから…  
安心して開けて  
もらえませんか？

が  
ちゃ

……





良かった...

無事で...



おケガは  
ありません...

わあ...

.....か？







怖かった……

アゲアゲ

こわかったの……



救われるんだよね？



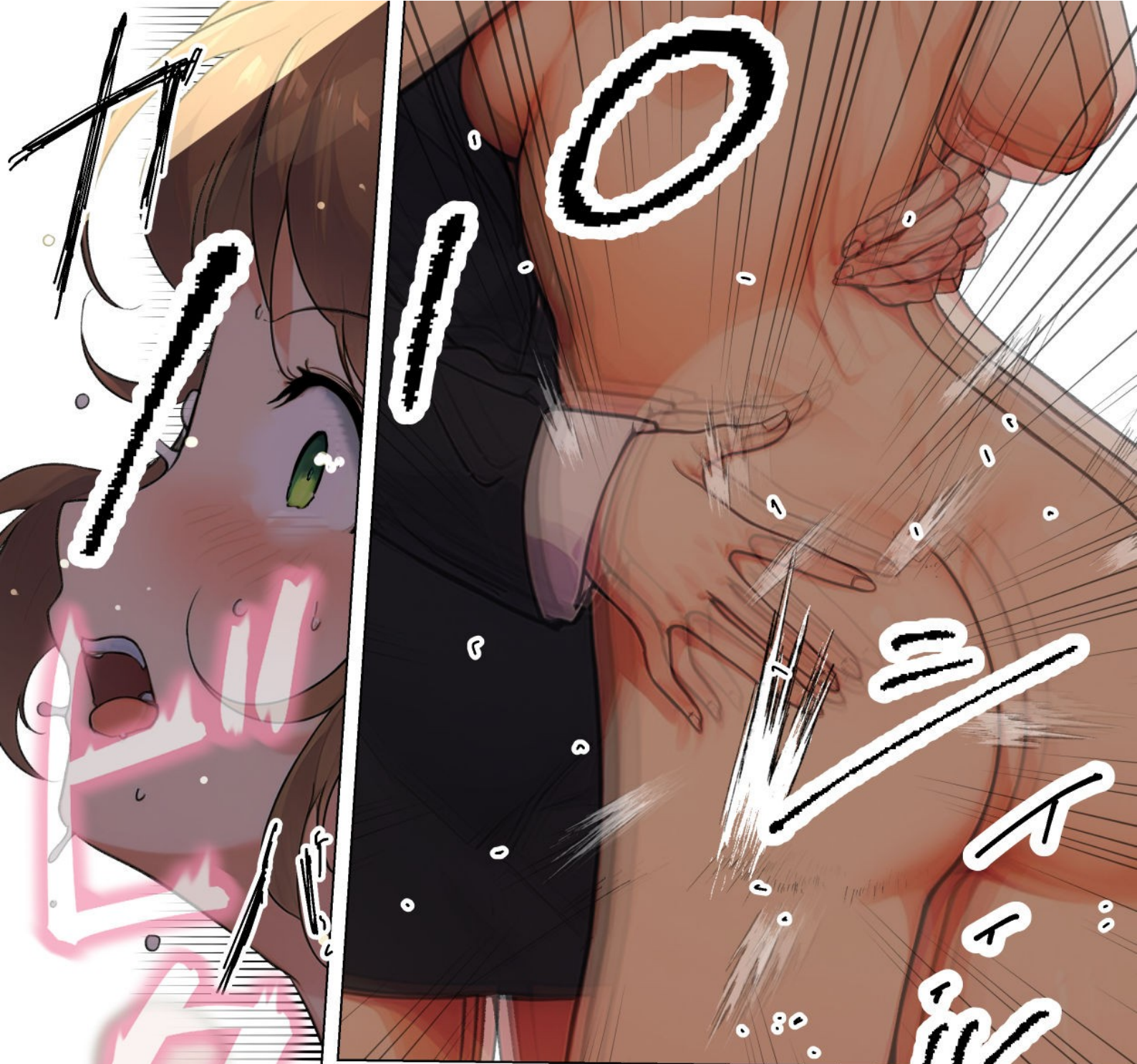
もうこれで……

私……



苦しかった……





なんで...

ふふふ...ふふふ...

え...

やっぱり.....

はあ.....





私...



これ  
欲しいかも♡



あらあら

いい音  
するのね♡



あれえ

何で  
ここに  
いるのかな？





な...

なんでここに...

はは  
最高ね♡

なんで  
私がここに  
いるか...って  
顔してるわね

.....そんなの  
決まってるじゃん

フッ...



あなたが  
スマホをずっと見てて

外に連絡をとる  
タイピングを  
狙っていたのは

知っていたの

だから  
電話した時  
この番号に  
かかるように  
したのよ

!

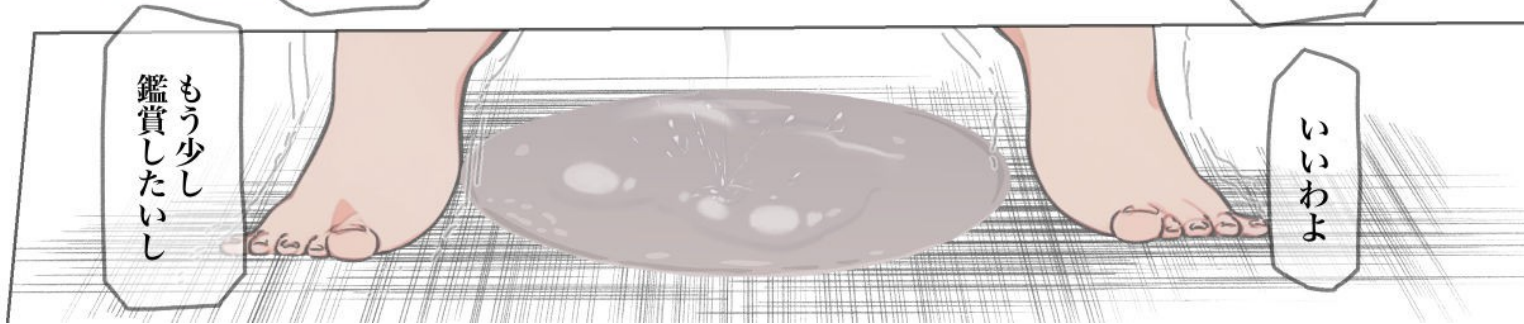
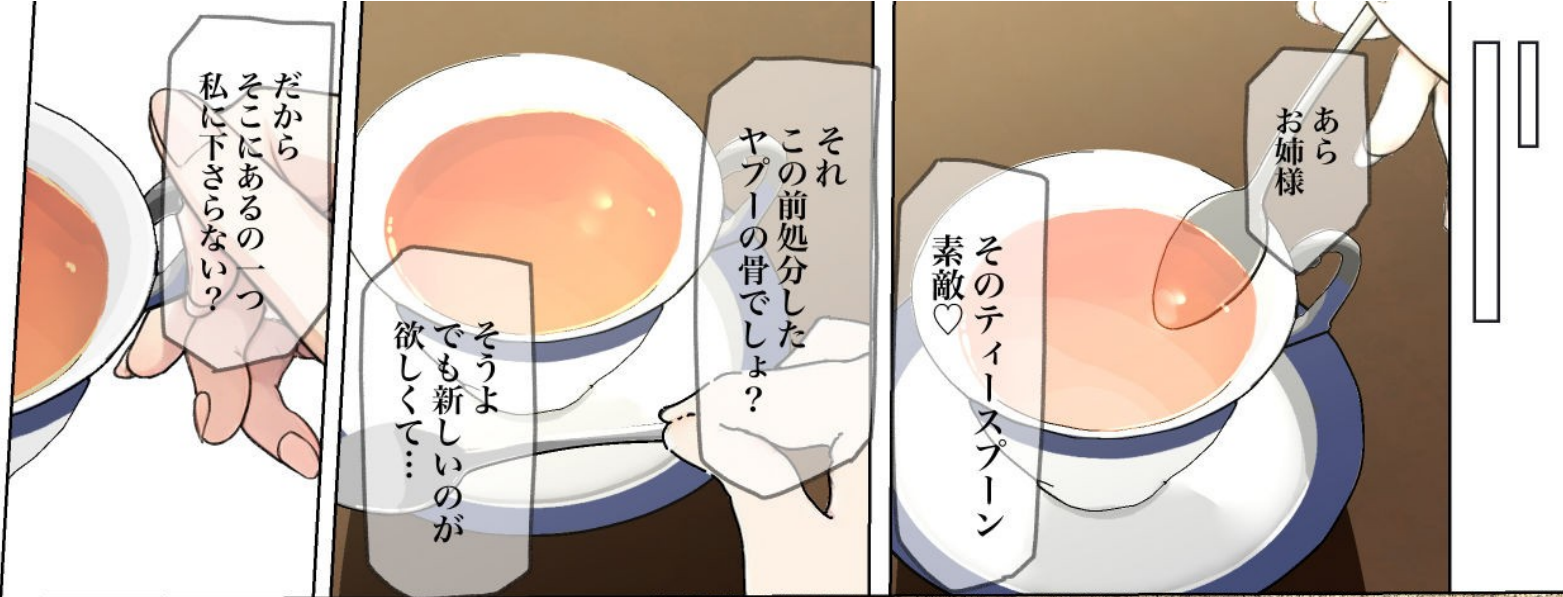
これ欲しい？

お姉様？

さて…と

ぜーんぶ  
知ってたの









退屈...

暗転...

いえ...

あ...

うー...

は...

愉悦よ



## 【奥付】

発行日 : 2025年5月17日

サークル : まるかな正麺/シラログ屋

発行者 : まるかな正麺

問合せ : t.koku.0822.0218@gmail.com

Twitter : @MARUKANA\_seimen

pixiv : <https://www.pixiv.net/member.php?id=22678523>

※本データの無断複製およびネットへのアップロード等にご容赦ください。

18歳未満の閲覧を固くお断りいたします。発見した場合は然るべき処置を行います。